# (様式1-2) **野田村 復興交付金事業計画 復興交付金事業等**

į	基金設置の時期:	平成24年3月8日	設置の有無:	: 7	可四州			BL.TC.	13 11 7 7	- HI I	2 所义列3	LT.A.11														令和元年12月時点
														1	各年度の交付対	象事業費 (注4)										(単位:千円)
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接		(注3)	定都道県以 外の者が負	村又は特定都	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業間流用 額	全体事業費 (注5)	町村又は特 定都道県以 外の者が負	うち、特定市 町村又は特 定都道県以 外の者が負 担する額を滅	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
1	C - 7 - 1	水産業共同利用施設復興整備事業	玉川地区	村	Ħ	直接	前回まで 今回 計	(19.000) 0 <19.000>	(0) 0 <0>	(19.000) 0 <19.000>	<0>	(19.000) <19.000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	0)	19,000	0	19,000	24 ~ 24	事業完了
2	D - 1 - 1	道路等集	城内·采田·南浜 地区	村	Ħ	直接	前回まで 今回	(462.926)	(0)	(19,000)> (482,928)	592	(36.977)	(376000)	(49,949)	592	502	502	502	502	502	(73.945)	536.871	0	536,871	24 ~ 26	「本書書と「公司」では、「本書」では、「本書」を「本書」を「本書」を「本書」を「本書」を「本書」を「本書」を「本書」を
3	D - 1 - 2	道路事業	城内地区	村	Ħ	直接	前回まで	(91.412)	(0)	(91.412)		(10.216)		(19.436)	(2.883)	(1.500)					(Δ1.196	90,216	0	90,216	24 ~ 28	事業至了 (他事業へ高興](平成30年5月10日) 東州男-10-1-12道路專軍(100年度積勘率変更分)(南滨地区) 東州県-1021 1984年(101年円) 東州後-7021 1984年(101年円) 東州後交付対象事業費:90,216千円(個費:74,507千円)
						·	前回まで	<91.412> (67.183)	<0>	<91.412> (67.183)	<0>	<10.216> (9.900)	<57.377> (33.719)	<19.436> (14.974)	<2.883> (7.290)	<1.500> (1.300)	<0>	<0>	<0>	<0>	<∆1.196≥ (∆980					事業完了 [他事業へ適用](平成90年5月10日) 資用先:10-1-12道路事業[100年夜楼勘率変更分](南京地區) 資用報:[192]90-7年(國資:54,800千円) 或用稅安付別等事業員:66,200千円(國資:54,800千円)
4	D - 1 - 3	道路事業	城内地区	村	村	直接	今回 計	0 <67.183>	0 <0>	0 <67.183>	<0>	<9.900>	<33.719>	<14.974>	<7.290>	<1.300>	<0>	<0>	<0>	<0>	<△980>	66,203	0	66,203		
5	D - 1 - 4	道路事業	泉沢地区	村	Ħ	直接	前回まで	(91.217)	(0)	(91.217) 0 <91.217>	(0)	(14.367)	(47.855) <47.855>	(19.806) <19.806>	(9.189) <9.189>	<0>>	<0>>	<n>&lt;</n>	<0>>	(0)	(5.584	96,801	0	96,801	24 ~ 28	事業方 「全年金年度業長」、展開者が13720から1701上更著 (日本金年の利用では2781×179120 「日本金年の利用では2781×179120 「日本金年の日本金年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の
6	D - 1 - 5	道路事業	南浜地区	村	Ħ	直接	前回まで今回計	(427.759) 0	(0)	(427.759)	322	(36.857	(226.038)	(42.208)	(122.656)			<0>	<0>	<02	(22.121	449,880	0	449,880	24 ~ 30	平成24年度事業党よ》、服費率的13/20から7/10(二度更 (参惠集公別周) [平成24年/0月3日] 成用先(0-1-23萬季年/84年/東西-南流地區) 成用級(1462年/121千円(國東:18,802千円) 成用級(1912年/日(國東:18,802千円) 或用級(1912年/日(國東:18,802千円) 事業完了
7	D - 17 - 1	都市再生事業計画案作成事業	城内地区	村	Ħ	直接	前回まで	<427,759> (285,086)	(0)	<427.759> (285.086)	(50,000)	<36.857> (235.086	<226.038>	<42.208>	<122.656>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<22.121> (∆76.836	208,250	0	208,250	23 ~ 25	(物語を、成例) (中記24年(9月13日)) (国際、27年(4年(9月14日))
8	D - 22 - 1	都市公園事業	城内地区	村	Ħ	直接	前回まで今回	<285.086> (410.000)	(0)	<285.086> (410.000)	<50.000> (30.000)	<235.086> (380.000	<0>	<0>			<0>	<0>	<0>	<0>	<∆76.836> (∆268.983	141,017	0	141,017	23 ~ 27	等級企業、展開)(年224年5月2日) 1周報(10-12-13年5月2日) 1周報(10-12-13年5月2日) 周期報(10-12-13年5月2日) 1月期報(10-13年5月2日) 1月期末(10-13年5月2日) 1月末(10
9	D - 22 - 2	都市公園事業	城内地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回	<410,000> (30,000)	<0> (0)	<410.000> (30,000)	<30.000>	<380.000> (30,000)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<∆268.983> (∆11,986	18,014	0	18,014	24 ~ 27	(地多本、波周)(明是22年10月14日) 東西州北-10-22-4 都市公園)達波防災勢地事業(被內,泉沢・米田・南浜地 成) 東西縣(11,508-FP(國際、8390-FP) 東西泉(15,508-FP(國際、8390-FP)
10	D - 22 - 3	都市公園事業	米田地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回計	<30.000> (30.000)	<0> (0)	<30.000> (30.000)	<0>	<30.000> (30.000)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<∆11,986> (10.613	40,613	0	40,613		【他事業より渡用】(平成28年5月20日) 渡用泉:D-22-1 都市公園事業(城内地区) 渡用泉:D-23(10513平円(国際 7.759年円) 渡用後(交付対象事業費:40,613千円(国費:30,459千円)
11	D - 23 - 1	防災集団移転促進事業	米田·南浜地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで	<30.000> (468.111) 0	(0)	<30.000> (468.111) 0	<10,000)	<30.000> (239.721	<0> (218.390) <218.390>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>.	<0>	<0>	<10.613> (△139.579	328,532	. 0	328,532	23 ~ 28	「本事を一点別」を記念を行うない。 はまたり一・注意を「おりた」を担当しませる。 かから、から、一点では、「おり、おり、また」をは、は、は、ない。 かがら、から、「いっ」と、「いっ」を、「いっ」
12	D - 23 - 2	防災集団移転促進事業	米田·南浜地区	村	Ħ	直接	前回まで 今回 計	(110.600) 0 <110.600>	(0) 0 <0>	(110.600) 0 <110.600>	(60.000) <60.000>	(50.600) <50.600>		<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(△61.805) (△61.805)	48,795	0	48,795	23 ~ 27	等条定。 (他數案へ展用](平成27年5月21日) 原用先の-4-3宵等公置信室董事率案評冊-五川地区) 原用級 3165千円(衛便、4455千円) 原用級大付対象事業費:48,796千円(衛費:38,597千円) 事業度了

# (様式1−2) v **野田村 復興交付金事業計画 復興交付金事業等**

					野田村			復典父*	何亚争》	村画 彼	<b>L</b> 典父何5	2 学来寺														
<u>ā</u>	基金設置の時期:	平成24年3月8日	設置の有無	: 2	有																					令和元年12月時点 (単位:干円
															各年度の交付対	象事業費 (注4)										(\$4.1)
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業実施主体	直接/間接			町村又は符 定都道県以 外の者が負	うち、特定市町 村又は特定都 道県以外の者 が負担する額を 滅じた額	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業間流用額	(注5)	完邦道県以	うち、特定市 町村又は特 定都道県以 外の者が負 担する額を滅	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
13	D - 23 - 3	防災集団移転促進事業	城内地区	Ħ	村	直接	前回まで今回	(1,473,971) 0 <1,473,971>	(0)	(1,473,971) 0 <1,473,971>	(10,000) <10,000>				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆359,206) ( <∆359,206>	1,114,765	o	1,114,765		協議を一般の関係の対象を発生的である。 対象を中心・対象を使動車を開発・支援・ が開発・力・対象を使動車を開発・ が開発があります。 の表を一点である。 のるであるである。 のるであるである。 のるであるである。 のるであるであるである。 のるであるである。 のるであるである。 のるであるである。 のるであるである。 のるであるであるである。 のるであるである。 のるであるである。 のるであるである。 のるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるである
14	D - 23 - 4	防災集団移転促進事業	城内地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回	(144.000)	0	(144.000) 0 <144.000>	(70.000) <70.000>	(74.000) <74.000>	<0>		<0>	\cdot	<0>	<0>	<b>√</b> 0>	<0>>	(∆55.918) ( (∆55.918>	88,082	. 0	88,082	23 ~ 27	(地路本の展別・帰途2年6月1日) 取用をしていませる。 取用をしていませる。 取用をしていませる。 取用を分が表現をよりませていませる。 取用を分が表現をよりませていませる。 (10年本)、近日、中央31年7月1日) (10年本)、近日、中央31年7月1日) 取用を少かりませる。 取用を少かりませる。 のは、10年日、10年日、 変形をしていませる。 本のは、10年日、10年日、 第2年日、10年日、 本のは、10年日 本のは、10年日
15	C - 4 - 1	被災地域農業復興総合支援事業	野田・玉川地区	県	Ħ	間接	前回まで 今回 計	(152.543) 0 <152.543>	(0) 0 <0>	(152.543) 0 <152.543>	<0>	(112.343)	(40.200) <40.200>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0)	152,543	0	152,543	24 ~ 27	事業完了 7
16	C - 5 - 1	漁業集落防災機能強化事業	下安家地区	県	Ħ	間接	前回まで 今回 計	(315,000) 0 <315,000>	(0) 0 <0>	(315.000) 0 <315.000>	(40.000) <40.000>	(275.000) <275.000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0)	315,000	0	315,000	23 ~ 24	事業完了
17	C - 6 - 2	漁港施設機能強化事業	玉川地区	県	村	間接	前回まで 今回 計	(50,000) 0 <50.000>	(0) 0 <0>	(50,000) 0 <50.000>	<0>	(40,000) <40.000>	(10,000) <10,000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0) C <0>	50,000	0	50,000	24 ~ 25	事業完了
18	A - 4 - 1	遺跡調査事業(震災復興支援)	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(13.434) 0 <13.434>	(0) 0 <0>	(13.434) 0 <13.434>	<0>	(3.755)	(9.679) <9.679>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0) C <0>	13,434	0	13,434	24 ~ 26	事業完了
19	D - 1 - 6	まちづくり連携道路整備事業	(野田村) (一)安康王川線 下安家	県	乘	直接	前回まで	(2.237,744) 0 <2237,744>	0 <0>	(2.237,744) 0 <2.237,744>	<0>	(80,000) <80,000>	(300,000 <300,000>	(1,800,000)	<0>	<0>	(57.744) 	<b>50</b> >	<0>	<0>	(7,074 △18,473 <△11,399>	2.226,345	o	2.226.345	24 ~ 30	高原を大連機能の一件、多大の公園機能の機能を(34年 本日) 中国権 自命が342年間間(433年刊 (543年 日本日) 「日本日 - 134日 日本日 - 134日 - 134日 日本日 - 134日 日本
20	◆ D - 1 - 6 -	1 まちづくり連携道路調査事業(道路)	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(30,000) 0 <30,000>	(0) 0 <0>	(30.000) 0 <30.000>	<0>	(30.000) <30.000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆21.904) ( <∆21.904>	8,096	0	8,096	24 ~ 24	事業定了 (他事業へ成開)(平成29年1月19日) 成用先:D-1-6 まかづソ連県道路整備事業(下安寮) 成用級:(M242/1904平円(個別:17522平円) 成用級と対対策事業費:(2004平円(個別:4477平円)
21	D - 1 - 7	まちづくり連携道路整備事業	(野田村) (一)野田港線 野田	県	県	直接	前回まで 今回 計	(30,000) 0 <30,000>	(0) <0>	(30.000) 0 <30.000>	<0>	(30,000)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(△30.000) (△30.000)	0	0	0	24 ~ 24	事業廃止 (他事業-成門)(平成29年1月19日) 成用先(1924D-1-6 年5-次リ連携道路整備事業(下安寮) 週用数(30000千円(協費:24,750千円) 週用数(30000千円(協費:24,750千円)
22	D - 4 - 1	災害復興公営住宅等整備事業	(野田村) 野田地区	県	県	直接	前回まで 今回 計	(855.834) 0 <855.834>	(0)	(855.834) 0 <855.834>	(19.000) <19.000>	(836.834) <836.834>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>-	<0>	(∆194.213) ( <∆194.213>	661,621	0	661,621	23 ~ 25	等本文。 (他事業へ成用](平成29年1月19日) 原用表:10-1-6 まち-文小連携連節整備事業(下安寮) 成用表:10-21355千円(簡単 2,285千円) 成用表:10-21355千円(簡単 1,085年円円) 成用表:10-210486年円(簡単 1,0850千円) 度用後24分対策事業費:661,821千円(簡費:578,519千円)
23	◆ D = 4 = 1 =	1 災害復興公営住宅駐車場整備事業	(野田村) 野田地区	県	県	直接	前回まで 今回 計	(6,000) 0 <6,000>	(0) 0 <0>	(6.000) 0 <6.000>	<0>	(6.000) <6.000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆2.452) ( <∆2.452>	3,548	0	3,548	24 ~ 25	事業完了 (检事業へ資用)(甲級29年1月19日) 5 范用先10十-6 多为"久沙連携遊遊整備事業(下安家) 范用銀行24.02年円(國際-1981年円) 范用银行24.02年円(國際-1881年円)
24	◆ D - 4 - 1 - :	2 県営住宅システム改修事業	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(1.000) 0 <1.000>	(0) 0 <0>	(1.000) 0 <1.000>	<0>	(1.000) <1.000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆1.000) ( <∆1.000>	0	0	0	24 ~ 24	事業表上 (他事業へ成用)[甲级29年1月19日) 森用表-0-1-6 多为"女兒連携透遊整機事業(下安寮) 森用級-19-31,000千円(國安-000千円) 森用後又付対象事業費:0千円(國安-0千円)
25	D - 4 - 2	災害復興型地域優良賃貸住宅整備事業	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(25,000) 0 <25,000>	(0) 0 <0>	(25.000) 0 <25.000>	<0>	(25.000) <25,000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆25,000) <∆25,000>	0	0	0	24 ~ 30	事業施士 事業名名化育成與型地域受員資金化有整備事業1.変更 (他專業へ造用)(中級2年5月10日) 週間先、競商第四市0-12年5-12分選務通過整備事業((似)今泉大橋 週期報。[1942/5500-FF((國費,21875-FF) 成用後文付付倉事業費-0-FF((國費:0-FF))
26	D - 5 - 1	災害復興公営住宅家賃低廉化事業	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(3,015) 0 <3,015>	(0) 0 <0>	(3,015) 0 <3,015>	<0>	(3,015) <3,015>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆3,015) ( <∆3,015>	0	0	0	24 ~ 27	村へ管理替えのため事業廃止 (効率素へ適用)(平成23年1月19日) (現所と10-1-12 まちづく)連携・直接を指す業(下安寮) (政務集(1443)015千円(國寮 2,038千円) (政務集(1443)015千円(國寮 1,038千円)
27	D - 6 - 1	東日本大震災特別家賃低減事業	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(540) 0 <540>	(0) 0 <0>	(540) 0 <540>	<0>	(540) <540>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆540) ( <∆540>	0	0	0	24 ~ 27	村へ可避勢スのため事業廃止 (他事業へ成用)(中級20年7月19日) 高州先に1-1-6 まちづくり連携道路整備事業(下安寮) 高州縣と10年5日(田餐) 405千円) 高州県と7月8年本第2(8千円)
28	◆ D - 4 - 1 - :	3 災害公営住宅整備推進事業	城内·米田·南浜 地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回計	(38.640) 0 <38.640>	(0)	(38.640) 0 <38.640>	<0>	(38.640) <38.640>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆23.719) (∆23.719)	14,921	0	14,921	24 ~ 24	他专案《读用》(平级24年/1月19日) 项用条—0—3至新章集《红色版》 京用器—(1648-487年) 项用器—(1648-487年) 项用系—0—529年26世末家夏德和专家(押册-至川地区) 项用器—(16420-287年)(國際—1829年円) 项用器—(16420-287年)(國際—1829年円) 重新表生。(16420-287年)(國際—1829年円)
29	D - 20 - 1	被災地における復興まちづくり総合支援事業 (復興まちづくり計画策定支援)	野田・玉川地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで	(84.527)	(0)	(84.527)		(84.527)									(∆1.568)	82,959	0	82,959	24 ~ 27	【他事業へ流開】(平成29年1月19日) 流用光:0-5-2紧密公整七零聚员纸集化事業(野田·玉川地區) 流用紙:10-11-30-61円(國東:178-17円) 流用板(2011)-30-61円(國東:12219-17円) 流用板(2011)-30-7円(國東:52219-17円) 主意學了

## (様式1-2) Vo

							野田村			復典文:	门亚争员	計画 復	<b>奥文</b> 173	立于未守														
_	基金	設置の	)時期:	平成24年3月8日	設置の有無:	7	Ħ																					令和元年12月時点 (単位:千円)
Г	Т																各年度の交付対	象事業費 (注4)										(単位:十円)
N		事業(注	番号:1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接		総交付対象 事業費 (注3)	定都道県以	うち、特定市町 村又は特定都 道県以外の者 が負担する額を 滅じた額	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業間流用額	全体事業費 (注5)	うち、特定市 町村又は特 定都道県以 外の者が負 担する額	うち、特定市 町村又は特 定都道県以 外の者が負 担する額を滅	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
3	<b>♦</b> D	- 20	- 1 - 1	復興基盤統合GIS整備事業	野田・玉川地区	村	村	直接	前回まで 今回 計	(15.139) 0 <15.139>	(0)	(15.139) 0 <15.139>	<0>	(5.555) <5.555>	(9.584) <9.584>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆565 <∆565>	0 14,574	0	14,574	24 ~ 25	他事率、周期(平型20年1月16日) 項用先-10-2-2年全世世常型促進化事業(野田-五川地區) 項用報-10-52565平円(國際-452千円) 或用報文付対象事業費:14.574干円(國費:13.659干円) 事業売了
3	c	- 1	= 1	農用地災害復旧関連区面整理事業(復興整 備実施計画)	(野田村) 宇部川地区	県	県	直接	前回まで 今回 計	(3.800) 0 <3.800>	(0) 0 <0>	(3.800) 0 <3.800>	<0>	(3.800)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	3,800	0	3,800	24 ~ 24	事業先7
3.	D	) - 1	- 8	まちづくり連携道路整備事業	(野田村) (主)野田山形線 野田	県	県	直接	前回まで今回	(2.250.000) 0	(0)	(2.250.000) 0 <2.250.000>	<0>	(100.000)	(360.000)	(1.590.000)	(150.000)	(50.000)	<0>>	<0>	<0>		(132.000 △18.91;	2,363,082 8	0	2,363,082	24 ~ 30	は関係した・1、企業的を対する事業を表現的地域に の関係した。1、企業のでは、1、企業
3	D	) - 13	= 1		城内·泉沢·米 田·南浜·玉川地 区	村	村	直接	前回まで今回 計	(79.380) 0	(0)	(79.380) 0	<0>	(79.380)	<360.000>	<1.590.000>	<150,000>	<50.000>	<0>	<0 <i>x</i>	<0>	<0>	<113.082> (∆30.000	49,380	0	49,380	24 ~ 30	【他事業へ流用】(平成29年1月19日) 京用先・10・5・2次書名全性企業責任業業(野田・玉川地区) 京用級・10×4390,000平円(個長・22,500平円) 京用後近行対象事業費・49,380平円(個長・37,035平円) 事業完了
3	c	) - 1	- 2	農用地災害復旧関連区面整理事業(農地整 備事業)	(野田村) 宇部川地区	県	県	直接	前回まで今回計	<79.380> (651.800)	(0)	<79.380> (651.800) 0	<0>	<79.380> (386.800)	<0>	(141.000)	(104.200)	<0>	(19.800)	<0>	<0>	<0>	<∆30,000> (41,200	693,000	0	693,000	24 ~ 31	協議主义が開刊(可認か年10月1日) 可用・大場内・一場間で大場では、 可用・10月1日 (日本) 可用・10月20日 (日本) 日本(日本)
3	☆ F	- 1	- 1 - 1	漁業集落復興効果促進事業	野田村	村	Ħ	直接	前回まで今回計	<651.800> (152,489) 0 <152,489>	(0) 0 0 <0>	<651,800> (152,489) 0 <152,489>	<0>	<386.800> (120.562) <120.562>	<0>	<141.000> (28.840) <28.840>	<104,200> (3,087) <3,087>	<0>	<19.800>	<0>	<0>	<0>	<41.200> (0	0 152,489	0	152,489	24 ~ 28	事業先了
3	* F	- 2	- 1 - 1	市街地復興効果促進事業	野田村	村	村	直接	前回まで 今回 計	(1.366.060) 0 <1.366.060>	(0)	(1.366.060) 0 <1.366.060>	<0>	(669.952)	(123.666)	(46.828) <46.828>		<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆48.138 <∆48.138>	1,317,922	0	1,317,922	24 ~ 29	【他事業へ流用】(平成31年1月11日) 原用光: 10-9-2月營公營住宅業賃低廉化事業(野田·玉川地區) 原用機: [127] 4.13年刊[國際] 3.55(日午刊) 展用機([27] 4.13年刊[國際] 5.51(日午刊) 展用機([27] 5.51(日午刊) 展用機(至付付股本業長:1,317,322千円(國資:1,354,333千円) 事業を了
3	A	4 - 4	- 2	埋蔵文化財発掘調査事業	野田・玉川地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで 今回 計	(260.410) 0 <260.410>	(0)	(260.410) 0 <260,410>	<0>	(82.099) <82.099>	(178.311) <178,311>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0	260,410	0	260,410	24 ~ 31	
3	c	- 5	- 2	漁業集落防災機能強化事業	中沢地区	県	村	間接	前回まで今回計	(6.594) 0 <6.594>	(0) 0 <0>	(6.594) 0 <6.594>	<0>	(6.594) <6.594>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0)	6,594	0	6,594	24 ~ 24	事業完了
3	• A	A - 4	- 1 - 1	埋蔵文化財発掘調査迅速化事業	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(38) 0 <38>	(0) 0 <0>	(38) 0 <38>	<0>	(38)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0	38	0	38	24 ~ 24	事業完了
4	D	) - 1	- g	道路事業	北区地区	村	Ħ	直接	前回まで 今回 計	(61.792) 0 <61.792>	(0)	(61.792) 0 <61.792>	<0>	(12.008)	(49.784) <49.784>	<0>	<0>	<0>>	<b>V</b> 02	<0>	<0>	<0>	(28.494 <28.494	90,286	0	90,286	24 ~ 31	呼級は特殊事業を決り、原保等の19/20から7/10に変更 (金融基上が開から出から中月5日)。 在意 総合物品 (金融基)と200円 (金融基) (金融基) (金融基) 原用能力を2015/34件子(個東 21/44年刊 (原用 2015/34件子(個東 21/44年刊 (原用 2015/34件子) (原東 21/44平刊) 原用能力を2015/34件子(日東東 21/44平刊) 原用能力を2015/34件子(日東東 21/44平刊) 原用能力が発酵素素素、他が終行行(開発 21/44平刊) 事業表す
4	D	) - 1	- 10	道路事業	南浜地区	村	Ħ	直接	前回まで 今回 計	(48.000) 0	(0)	(48.000) 0		(5.000)	(3.000)	(40.000) <40.000>	-	<0>	<0>>	<0>	<0>	<0>	(∆1.604	46,396 0	0	46,396	24 ~ 28	日本3年6年至春日 24、福春春日 1220年7月17日 東東 中華本学年7月17日 1220年 1231日 12
4	D	) - 1	- 11	道路事業	城内地区	村	村	直接	前回まで今回計	<48.000> (239.042) 0 <239.042>	(0) (0) 0 <0>	<48.000> (239,042) 0 <239.042>	<0>	<5.000> (58,342) <58,342>	<3.000> (52,948) <52,948>	<0>	<0> (127,752) <127,752>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<∆1.604> (∆85,063 <∆85,063>	153,979	0	153,979	24 ~ 31	【他事業へ流開】(平成30年1月17日) 京用表:0-5-2次音公營也宅東資程庫(野田-五川地区) 京用縣:1/2735608千円(國費:72303千円) 京用後(交付対象事業費:153979千円(國費:128,100千円)
4.	D	) - 4	- 3	災害公室住宅整備事業	野田-玉川地区	村	村	直接	前回まで	(2382219)		(2382219)	<02	(812.397)	(845.773)	(724049)	SIELISEZ	102	502	5,92	<.p> <p< th=""><th>&lt;92</th><th>(408.951</th><th>2,791,170</th><th>0</th><th>2,791,170</th><th>24 ~ 27</th><th>の需要が対する場合では、1000年で10回転(1000年で10回転を対する場合では、1000年で10回転(1000年で10回転)は、1000年で10回転(1000年で10回転)は、1000年で10回転(1000年で10回転)は、1000年で10回転で10回転では、1000年で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転</th></p<>	<92	(408.951	2,791,170	0	2,791,170	24 ~ 27	の需要が対する場合では、1000年で10回転(1000年で10回転を対する場合では、1000年で10回転(1000年で10回転)は、1000年で10回転(1000年で10回転)は、1000年で10回転(1000年で10回転)は、1000年で10回転で10回転では、1000年で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転で10回転

# (様式1-2) Vol. 2 **野田村 復興交付金事業計画 復興交付金事業等**

					野田村			復典父	何亚争》	作計画 彼	<b>L</b> 典父何5	2 争来寺														
<u>ā</u>	金設置の時期:	平成24年3月8日	設置の有無:	: 7	有																					<u> </u>
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業実施主体	直接/間接		総交付対象 事業費 (注3)	町村又は符 定都道県以 外の者が負	うち、特定市町 村又は特定都 道県負担する額を 滅じた額	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	各年度の交付対 平成27年度	象事業費 (注4) 平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業間流用額		町村又は特 定都道県以 外の者が負	町村又は特 定都道県以	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
44	D - 5 - 2	災害公営住宅家賃延廉化事業	野田•玉川地区	村	Ħ	直接	前回まで今回計	(220.465) 0	0 0	(220.465) 0 <220.465>	<0>	<0>	(22.140)	(22.895)	(45.837) (45.837)	(129.793)	<0>	<0>	<0>	<0>	(276.793)	579.165	0	579,165	25 ~ 32	日本日本 (1997年 日本日本日 1997年 日本日本 (1997年 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本
45	D - 6 - 2	東日本大震災特別家賃低減事業	野田・玉川地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回	(34.029) 0 <34.029>	) (0)	(34.029) 0 <34.029>	<0>	<0>	(2.664) <2.664>	(4.270) <4.270>	(9.215) <9215>			<0>	<0>	<0>	(28.994) 0 <28.994>	71,941	0	71,941		他等至少规则(申209年1月日) 期限(中209年1月日) 期限(中2091000年7月1度)720年7月 日本第一年 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1
46	D - 17 - 2	被災市街地復興土地区園整理事業	城内地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回計	(1.234.000) 0 <1.234.000>	0 0	(1.234.000) 0 <1.234.000>	<0>	<0>	(266.000) <266.000>	(722.144) <722.144>	(245.856) <245.856>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆43.912) 0 <∆43.912>	1,190,088	0	1,190,088		(物源本、通用) 中间21年2月11日 市场市、个十分22年2日 市场下、个十分22年2日 東海路(19712年89年月1版年 1967年) 東海路(19712年89年月1版年 1967年) 東海路(19713年89年月1版章 大田大田大田 東海路(19713年89年月1版章 大田大田大田 東海路(19713年89年月1版章 大田大田大田 東海路(19713年89年月1版章 大田大田大田 東海路(19713年89年月1版章 大田大田大田 東海路(19713年89年月1版章 大田大田大田 東海路(19713年89年月1版章 大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田
47	D - 17 - 2 - 1	市街地整備上下水道事業	城内地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回	(126.740) 0 <126.740>	0 <0>	(126.740) 0 <126.740>	<0>	<0>	(60.150) <60.150>	(66.590) <66.590>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(∆29) 0 <∆29>	126,711	0	126,711		(他至本《周期](明知》年5月10日) 河南先(1)(120年年)(100年年) 河南(100年)(120年年)(100年年)(120年年) 日本年)(120年年)(120年年)(120年年)(120年年) 日本年)(120年年))(120年年)(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年))(120年年)(120年年)(120年年))(120年年)(12
48	D - 23 - 5	防災集団移転促進事業	城内·米田·南浜 地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回	(732.330) 0		(732.330) 0		(114.000)	(618.330)		30						(∆129.370) 0	602,960	0	602,960	23 ~ 27	つかし、D-2から 野球機関経営事務会 (金融名・大規則・1927年5月21日) 周用表 かールコ実験や設定を開発業 (2月80年7日 周囲表 1927年5月21日 (日本年度) (2月8日年7日 (大井が大協の確定を展別・成立9年7日) (大井が大協の確定を展別・成立9年7日) 周囲表 シールコ実験が設定を展別・成立9年7日 周囲展のサールコ実験が設定を展別・成立9年7日 周囲展のサールコ実験が設定を展別・成立9年7日 周囲展の対け影響展集 (40240年7日 (周囲 1827年7日 日本日 周囲展の対け影響展 (40240年7日 (周囲 1827年7日 日本日 1827年7日 1827年7
49	D - 23 - 5 - 1	団地高台簡易水道整備事業	城内·米田·南浜 地区	村	Ħ	直接	前回まで今回計	<732.330> (53.970) 0 <53.970>	(0)	<732.330> (53.970) 0 <53.970>	<0>	<114.000>	<618.330> (53.970) <53.970>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<∆129.370> (∆10.152) 0 <∆10.152>	43,818	0		ı	(他專案へ成兩](平成29年1月19日) 成用先-0-5-2资害必營也市家資保廉化專業(野田·五川地区) 沒用縣(中25)10.5至中円(國資、8.23十円) 7 流用後(平文付対象事業費、48.818干円(國資、35.655干円)
50	D - 21 - 1	下水道事業	城内·米田·南浜 地区	村	Ħ	直接	前回まで今回計	(102.892)	0	(102.892)		(14.820) <14.820>	(88.272) <88.272>	<0>	<0.5	<0>	-00	<0.5	<0>		(∆5,460) 0 <∧5,460>	97,432	0	97,432	24 ~ 27	事業等 (大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大
51	C - 5 - 1 - 1	漁業集落排水汚水運搬事業	下安家地区	村	Ħ	直接	前回まで	(3.000)	0	(3.000)		(3.000)				302					(0)	3,000	0	3,000	24 ~ 24	事業完了 4
52	C - 5 - 3	漁業集落防災機能強化事業(直接補助分)	下安家地区	村	Ħ	直接	前回まで今回	<3.000> (392.063) 0	(0)	<3.000> (392.063) 0	<0>	<3.000>	<0> (247.863)	<0> (144,200)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0> (0)	392,063	0	392,063	25 ~ 28	C-5-1の直接補助分 8 事業完了
53	C - 5 - 4	漁業集落防災機能強化事業(直接補助分)	中沢地区	村	Ħ	直接	前回まで	<392,063> (48.792) 0 <48.792>		<392,063> (48.792) 0 <48.792>	<0>	<0> (1.586) <1.586>	<247,863> (31,771) <31,771>	<144,200> (15.435) <15.435>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0)	48,792	0	48,792	24 ~ 26	C-5-2の直接補助分 6 事業完了
54	• C = 4 = 1 = 1	被災地域農業復興効果促進事業	野田地区	村	Ħ	直接	前回まで今回計	(1.650) 0 <1.650>	(825)	(825) 0 <825>		\(\(\)	(1.650)	<0>	<0.5	<0>	(0)	<0>	<0>	200	(0)	1,650	825	825	25 ~ 25	事業完了
55	D - 22 - 4	都市公園(津淀防災緑地)施設整備事業	城内·泉沢·米 田·南浜地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで	(1.576.000) 0	(0)	(1.576.000)	<0>	<0>	(570.744) <570.744>	(673.758) <673.758>	(130.697) <130.697>	(200.801)	<0>	<0>	<0>	<0>	(323.715)	1,899,715	0	1,899,715	25 ~ 29	(24)、10-21、10-21、新的级繁新和 (新春之次月) 10-22 (10-21) (新春之次月) 10-22 (10-21) (新春之为上) 10-22 (10-21) (西春之为日) 10-22 (10-21) (西春春之为日) 10-22 (10-21) (西春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春

# (様式1-2) Vol. 2 **野田村 復興交付金事業計画 復興交付金事業等**

						野田村			復興父1	可亚争集	:計画 位	[與交付的	20 半来寺														
_	基金設置の	時期:	平成24年3月8日	設置の有無	: 2	有																					令和元年12月時点
No	事業番	香号 1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業実施主体	直接/間接		(注3)	定都道県以 外の者が負		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	各年度の交付を 平成27年度	象事業費(注4 平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業間流用額	(注5)	うち、特定市 町村を装 で の で の で の で の さ が り に り り り り り り り り り り り り り り り り り	町村又は特 定都道県以	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
56	D - 22 ·	- 5	都市公園(津波防災緑地)用地取得事業	城内·泉沢·米 田·南浜地区	村	Ħ	直接	前回まで今回	(94,825) 0 <94,825>	(0)	(94,825) 0 <94,825>	<0>	. <0>	(94,825) <94,825>	<0>	<0>	<0>	<0>	> <0>	<0	> <0>	(∆7,985) ( <∆7,985>	86,840		86,840	25 ~ 2	(他等年《周月](甲拉24年10月13日) 南州東 10-24-48的公園(田園的資格地)医營產專業(城內·泉京·東 南州東位大村都李華東 4002年刊(南東 4364年刊) 南州東位村排李華東 4002年刊(南東 4305年刊) 南州東位村北海市東省(1003年前) 南州東位十八十四屆等省(1004年前) 南州東位十八十四屆等省(1004年前) 南州東位十八十四屆等省(1004年前) 南州東位十八十四屆等省(1004年前) 南州東位十八十四屆等省(1004年前) 南州東位十八十四屆等省(1004年前) 南州東位十八十四屆等省(1004年前) 南州東位十八十四屆等(1004年前) 南州東位十八十四屆等(1004年前) 南州東位十八十四屆等(1004年前) 東京 1004年前日(1004年前)
57	☆ F - 3 ·	- 1 - 1	漁業集落復興効果促進事業(県分)	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(12.056) 0 <12.056>	(0) 0 <0>	(12.056) 0 <12.056>	<0>	<0>	(12.056) <12.056>	<0>	<0>	<0>	<0>	> <0>	<0	· <0>	(0) (0) (0)	12,056	0	12,056	25 ~ 3	「経春区心の変響による機}(回線96座の目15日)
58	★ F = 4 ·	- 1 - 1	市街地復興効果促進事業(県分)	野田村	県	県	直接	前回まで 今回 計	(83.994) 0 <83.994>	(0) 0 <0>	(83.994) 0 <83.994>	<0>	<0>	(79.361) <79.361>	<0>	<0>	(4.633) <4.633>	<0>	> <0>	<03	<0>	(41.292) (41.292)	125,286	0	125,286	25 ~ 3	移動兒:大槌町 F-4市貨地復興効果促進事業 41,292干円(国費:33,033干円) 移動後交付対象事業費:125,288干円(国費:100,227干円)
59	E - 1 -	- 1	<b>浄化槽設置整備事業</b>	野田・玉川地区	村	Ħ	直接	前回まで 今回 計	(2.205) 0 <2,205>	(0) 0 <0>	(2.205) 0 <2,205>	<0>	<0>	<0>	(2.205) <2,205>	<0>	<0>	<0>	> <0>	<03	× <0>	(0) (0) (0)	2,205	0	2,205	26 ~ 2	事業党 7
60	◆ D - 17	- 2 - 2	土地利用計画策定促進事業	城内地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回	(122.000) 0	(0)	(122.000) 0	<0>		<0>	<0>		(122.000)		> <0>			(∆32.930) C	89,070	0	89,070	28 ~ 21	(総第三、元明)「年224年 7月(日) 前用をつから256年 26年 26年 26年 28年 28年 28年 28年 38年 38年 28日
61			都市公園備品整備事業	城内·泉沢·米 田·南浜地区	村	Ħ	直接	前回まで今回計	<122,000> (2,450) 0 <2,450>	(0) 0 <0>	<122.000> (2.450) 0 <2.450>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<122,000 > (2,450) <2,450 >	<0>		<0)	> <0>	<Δ32,930> (Δ133) (Δ133)	2,317	0	2,317	28 ~ 2	[他泰集《周用](平成31年1月11日) 成用先 0-0-32度分数性含素技术操作事業[補助率変更分](對冊-五川 資用報 [[162] 33月7年(國費:104千円) 成用版 (162] 33月7年(國費:104千円) 等享完了 事業完了
62	◆ D - 22 ·	- 4 - 2	都市公園避難誘導板及び公園案内板整備 事業	城内·泉沢·米 田·南浜地区	村	Ħ	直接	前回まで 今回 計	(45.800) 0 <45.800>	(0) 0 <0>	(45.800) 0 <45.800>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(45.800) <45.800>	<0>	> <0>	<02	<0>	(0) (0) (0)	45,800	0	45,800	28 ~ 21	李素完「     「他高重へ密囲!(深線が底内間10日)
63	◆ D - 22 ·	- 4 - 3	都市公園台帳整備事業	城内·泉沢·米 田·南浜地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで	(4.000)	(0)	(4.000) 0						(4,000)					(△36)	3,964	0	3,964	28 ~ 29	(物產本。澳州)(甲烷30年的月10日) 即用水 0-1-1/2基础。10年度有限更更分)(南流地區) 政用版文付款基本最上30年年刊(國際、173至中) (市區本一港門)(中国、日本日)(国际、173至中) 政府、173至日本市区、173至日本市区、173至中) 政府、173至日本市区、173至日本市区、173至日 政府、173至日本市区、173至日 政府、173至日本市区、173至日 政府、173至日本市区、173至日 政府、173至日本市区、173至日 173至日本市区、173至日本 17
64	◆ A - 4	- 2 - 1	埋蔵文化財収蔵栩整備事業	野田地区	村	Ħ	直接	前回まで	<4.000> (5.540) 0	<0> (0) 0	<4.000> (5.540) 0	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<4,000> (5,540)			<03	<0>	<∆36> (0)	5,540	0	5,540	28 ~ 21	事業完了
65	D - 5 ·	- 3	災害公营住宅家賃低廉化事業[補助率更更分]	野田-玉川地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで	0)	(0)	<5.540> (0)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<5540≥		> <0>	<0:	<0>	(36.123	84,660	0	84,660	30 ~ 3:	(由海里上以周) (中国20年1月1日)  東京東京山川市山田市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市
66	D - 1 ·	- 12	道路事業[H30年度補助平変更分]	南浜地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで	(0)	(0)	(0)	<0>	<0>	<02	<0>	<0>	<0>	<02		<0;	> <0>	(19.417) c	19,417	, 0	19,417	30 ~ 3	「中央の企業を受け、「中央の企業を使け、「中央の企業を使り、「中産を使り、「中央の企業を使り、「中央の企業を使り、「中央の企業を使り、「中央の企業を使り、「中央の企業を使り、「中央の企業を
67	◆ D - 4	- 3 - 1	災害公営住宅内公共施設整備事業	野田·玉川地区	Ħ	Ħ	直接	前回まで今回計	<0> (0) 0 <0>	(0) 0 0 <0>	<0> (0) <0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		<03	<0><0>	<19.417> (141.158) (141.158>	141,158	5	141,158	27 ~ 2	《年度23年3月31日》事業内容の確定に伴い、差許事業施430~43次管 位置电影概率率から批批的温斯等温斯等温斯等。 1987年1月1日 - 1987年1日 - 198

(様式1-2) Vol. 2

	**************************************				野田村	t		復興交	付金事業	計画 街	<b>夏興交付金</b>	事業等															
_	基金設置の時期:	平成24年3月8日	設置の有無:	. 7	有																					令和元年12月時点	:千円)
Г															各年度の交付対	象事業費 (注4)	)									(#2	.110/
N	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接		(注3)	町村又は特	うち、特定市町 村又は特定都 道県以外の者 が負担する額を 滅じた額	可能の全種	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業間流用額	全体事業費 (注5)	定都道県以 外の者が負	うち、特定市 町村又は特 定都道県以 外の者が負 担する額を滅	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)	
Г	•	•	•	$\overline{}$	1 .	. 14	前回まで	(20.370.106)		(20.369.281)	(289.000)	(6.046.599)	(5.718.603)	(6.168.387)	(1.484.276)	(585.697)	(77.544)	(0)	(0)	(0	(∆77.803 ∆37.391	20.394.274					$\overline{}$
			_		"		#1	<20.370.106>	<825>	<20.369.281>	<289.000>	< 6.046.599>	<5.718.603>	<6.168.387>	<1.484.276>	<585.697>	<77.544>	<0>	<0>	<0>	Δ37,391 <Δ115,194>	20,334,274	023	20,333,443		_	
					(うちii 分	市町村交付 )	前回まで	(13,641,714) 0 <13,641,714>	(825) 0 <825>	(13,640,889)	(230,000)	(4,105,880)	(4,907,307) 0	(2,637,387)	(1,230,076)	(531,064) 0	(0) 0 <0>	(0) 0	(0) 0	(0)	(∆21,245 0 (	13,759,831	825	13,759,006			
					(55)	県交付分)	前回まで	(6.728.392) (6.728.392) (6.728.392)	(0)	<13.640.889> (6.728.392) 0 <6.728.392>	<230.000> (59.000) 0 <59.000>	<4.105.880> (1.940.719) 0 <1.940.719>	<4.907.307> (811.296) 0 <811.296>	<2.637.387> (3.531.000) 0 <3.531.000>	<1.230.076> (254.200) 0 <254.200>	<531.064> (54.633) 0 <54.633>	(77.544) 0 <77.544>	<0> (0) 0 <0>	(0)	(0)	(∆56.558 0 ∆37.391	6,634,443	0	6,634,443			
					(35)	基幹事業)	前回まで 今回 計	(18.299.540) 0 <18.299.540>	(0) 0 <0>	(18.299.540) <18.299.540>	(289.000) 0 <289.000>	(5.171.852) 0 <5.171.852>	(5.378.166) 0 <5.378.166>	(6.026.129) 0 <6.026.129>	(955.575) 0 <955.575>	(401.274) 0 <401.274>	(77.544) 0 <77.544>	(0) 0 <0>	(0) 0	(0	(Δ119.195 Δ37,391 <Δ156.586>	18,282,316	0	18,282,316			
						効果促進事 等 )	前回まで 今回 計	(2,070,566) 0 <2,070,566>	(825) 0 <825>	(2,069,741) 0 <2,069,741>	(0) 0 <0>	(874,747) 0	(340,437) 0 <340,437>	(142,258) 0 <142,258>	(528,701) 0 <528,701>	(184,423) 0 <184,423>	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	(0	) (41,392) 0 (	2,111,958	825	2,111,133			
Г	都道県名	岩手県		担当部局名		総務課財政班										担当者氏名		中川 大志									
	市町村名	野田村		電話番号		0194-78-211	1									メールアドレス		h-nakagawa@vill.no	da.lg.jp								-

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)「(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号) (最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「総交付対象事業費」、「各年度の交付対象事業費」、「事業間流用額」欄の上段()書きは、前回までに配分された額等を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。 (注4)「各年度の交付対象事業費」欄の中段の計数は、様式1-4の「交付対象事業費(b)」欄と必ず一致させること。
- (注5)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。なお、事業間流用を行った場合は必ず流用後の全体事業費を記載する。
- (注合)「全体事業期間」は、平成32年度までの事業期間を記載をする。 (注7)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「事業間流用額を、「備考」欄には年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載し、必ず様式3との整合を図ること。
- (注8)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(様式1-3)

## 野田村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体 県 事業実施主体(直接/間接) 県(直接)	NO.	19	事業名	業名 まちづくり連携道路整備事	業(一)安家玉川線 下安家	事業番号	D-1-6
(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	交付回	団体		県	事業実施主体(直接/間接)	県 (直接)	
── 総交付対象事業費 2,237,744 (千円) 全体事業費 2,226,345 (千円)	総交付	付対象	事業費	業費 2,237,744 (千円)	全体事業費	2, 226, 345	(千円)

#### 事業概要

東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた下安家地区の市街地内の幹線道路となる(一) 安家玉川線(下安家)の道路整備を行う。

(一) 安家玉川線(下安家) は、下安家の中心部を通過する主要道路であり、沿線には鮭の孵化場などの水産業施設が立地し、日常生活に欠かせない道路である。

今回の津波により、多数の家屋等が流失、水産業施設が被災するなどの被害が生じたことから、 多重防災型のまちづくりと一体となった災害に強い延長 1.4 kmの2車線道路を整備するものである。

平成 25 年度から用地買収、工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き用地買収・工事の進 捗を図り、平成 29 年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。

【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16

・多重防災型まちづくり推進事業 (まちづくり連携道路整備事業)

道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施

### (事業間流用による経費の変更) (平成29年1月19日)

台風 10 号被害による手戻工事費の追加に伴い、工事費が増額したため、◆D-1-6-1 まちづくり連携道路調査事業(道路)より21,240 千円(国費: H23 補正予算17,523 千円)、D-1-7 まちづくり連携道路整備事業((一)野田港線 野田)より30,000 千円(国費: H23 補正予算24,750千円)、D-4-1 災害復興公営住宅等整備事業(野田地区)より3,982 千円(国費: H23 補正予算3,285千円)、◆D-4-1-1 災害復興公営住宅駐車場整備事業より2,377千円(国費: H23 補正予算1,961千円)、◆D-4-1-2 県営住宅システム改修事業より970千円(国費: H23 補正予算800千円)、D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業より3,197千円(国費: H23 補正予算2,638千円)、D-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業より490千円(国費: H23 補正予算405千円)を流用。

これにより、交付対象事業費は 2, 237, 744 千円(国費: 1, 846, 138 千円) から 2, 300, 000 千円(国費: 1, 897, 500 千円) に増額。

(事業間流用による経費の変更)(平成31年1月11日)

事業費精査により工事費等の額が減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎~碁石) へ 55, 182 千円 (国費: 128 繰越予算 45, 525 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2, 300, 000 千円(国費: 1, 897, 500 千円)から 2, 244, 818 千円(国費: 1, 851, 975 千円)に減額。

#### (事業間流用による経費の変更)(令和元年10月7日)

事業完了により事業費が減額したため、陸前高田市 D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(久保 ~泊) ~ 18,473 千円(国費: H23 繰越予算 15,240 千円)を流用。これにより、交付対象事業費は 2,244,818 千円(国費: 1,851,975 千円)から 2,226,345 千円(国費 1,836,735 千円)に減額。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください

### 当面の事業概要

<平成28年度>用地補償、工事等

<平成 29 年度>工事等

## 東日本大震災の被害との関係

東日本大震災津波により被害を受けた下安家地区において、野田村の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。

※区域の被害状況も記載して下さい。

## 関連する災害復旧事業の概要

なし。

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連	!性

(様式1-3)

## 野田村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体 県 事業実施	直主体(直接/間接) 県(直接)
総交付対象事業費 2,250,000 (千円) 全体事業	<b>2,363,082</b> (千円)

#### 事業概要

東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた野田地区の市街地内の幹線道路となる(主)野田山形線(野田)の道路整備を行う。

(主)野田山形線(野田)は、野田村の中心部を通過する主要道路であり、沿線には役場等の主要施設が立地し、日常生活に欠かせない道路である。

今回の津波により、野田地区の多数の家屋等が流失するなどの被害が生じたことから、当地区の高台移転と一体となった延長 1.5 km、幅 12.5m の 2 車線道路を整備し、安全で安心な地域づくりを推進するものである。

平成 24 年度から用地買収、工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き用地買収・工事の進 捗を図り、平成 29 年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。

【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16

・多重防災型まちづくり推進事業(まちづくり連携道路整備事業)

道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施

#### (事業間流用による経費の変更)(平成29年1月19日)

詳細調査に基づく補償費の増額のため、D-4-1 災害復興公営住宅等整備事業(野田地区)より202,000 千円(国費: H23 補正予算 166,650 千円)を流用。これにより、交付対象事業費は2,250,000千円(国費: 1,856,250 千円)から2,452,000千円(国費: 2,022,900 千円)に増額。

## (事業間流用による経費の変更)(平成31年1月11日)

事業費精査により工事費等の額が減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎~碁石) へ 70,000 千円 (国費: H23 繰越予算 57,750 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,452,000 千円(国費: 2,022,900 千円)から 2,382,000 千円(国費: 1,965,150 千円) に減額。

#### (事業間流用による経費の変更)(令和元年 10 月 7 日)

事業完了により事業費が 18,918 千円(国費: 15,606 千円)減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業(末崎~碁石)へ 8,888 千円(国費: H23 繰越予算 7,332 千円)、陸前高田市 D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(久保~泊)へ 10,030 千円(国費: H23 繰越予算 8,274 千円)を流用。これにより、交付対象事業費は 2,382,000 千円(国費: 1,965,150 千円)から 2,363,082 千円(国費: 1,949,544 千円)に減額。

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください

### 当面の事業概要

<平成28年度>用地補償、工事等

### <平成29年度>工事等

## 東日本大震災の被害との関係

東日本大震災津波により被害を受けた野田地区において、野田村の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。 ※区域の被害状況も記載して下さい。

## 関連する災害復旧事業の概要

なし。

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連	性

## (様式1-4)

## 野田村 復興交付金事業計画 平成27年度 復興交付金事業等

省庁名:

国土交通省

令和元年12月時点

×++	**********	サナス事業等でした作品である。	_										(## TE)
** <del>*</del> * *	東式は同一の交付担当大臣が交1 「	付する事業等ごとに作成して下さい			1	1		1					(単位:千円)
									当該年度(注4)		年度間調整 (該当する場		
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道県 以外の者が負担する額を 滅じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	備考
								(2,883)	(2,883)	(2,450)			
3	D - 1 - 2	道路事業	城内地区	村	村	直接	2/3	0	0	0			
								<2,883>	<2,883>	<2,450>			
								(7,290)	(7,290)	(6,196)			
4	D - 1 - 3	道路事業	城内地区	村	村	直接	2/3	0	0	0			
-								<7,290>	<7,290>	<6,196>			平成26年度事業費より、国費率が13/20から7/10に変更
5	D - 1 - 4	道路事業	泉沢地区	村	村	直接	2/3	(9,189) O	0	(7,810)			[他專案より規則](平成27年11月13日) 提用死:D-1-12版專案(城內-米巴·南漢地區) 規用級:[H253,363千円(国費2.858千円) (規則及公司26年21月(国費2.858千円) (規則及公司26年3月17日) (加事業より規則](平成26年3月17日) (加事業より規則](平成26年3月17日) (規則及公司26年3月17日) (他專業上以前月(平成26年10月18日) 提用及公司26年3月(中成26年10月18日) 規則及公司26年3月(26年3月18日) 規則及公司26年3月(26年3月18日) 規則及公司26年3月(26年3月18日) 規則及公司26年3月(26年3月18日) 提別報:[H2536年7月(国費118年7月) 提別報:[H2536年7月(国費118年7月) 提別報:[H2536年7月(国費118年7月) 提別報:[H2536年7月](國子12.750千円) 提別報:[H2536年7月](國子12.556年7日) 提別報:[H2536年7月日](國子12.556年7日) 選別報:[H2536年7月年7日](國子12.556年7日) 定別報と同じな行列を再成型を計算を持ちます。
								<9,189>	<9,189>	<7,810>			平成26年度事業費より、国費率が13/20から7/10に変更
								(122,656)	(122,656)	(104,257)			平成26年度事業費より、国費率が13/20から7/10に変更 【他事業より流用】(平成28年10月13日) 流用元:D-1-1道路事業(城内・米田・南浜地区)
6	D - 1 - 5	道路事業	南浜地区	村	村	直接	2/3	0	0	0			流用額:[H25]22,121千円(国費:18,802千円) 流用後交付対象事業費:144,777千円(国費:123,059千円)
								<122,656>	<122,656>	<104,257>			
32	D - 1 - 8	まちづくり連携道路整備事業	(野田村) (主)野田山形 線 野田	県	県	直接	2/3	(150,000)	(150,000)	(123,750) 0			(他事来、漁用(平成3年1月11日) 議用先、光和波而し-18 まちくびと議構道路登庫事業(末崎~碁石) 漁用紙: 142970000千円(國費:57,750千円) (加事来、流用(今和元年10月7日) 現用先、大和波而し一名85つて(少達機道路登備事業(末崎~碁石) 境用先、北和波面の一名85つて(少達機道路登備事業(末崎~碁石) 境用先、指加速面面の一名85つで(少達機道路登備事業(久保~治) 進用差、指加速面面の一名85つで(3連機道路登備事業(久保~治) 進用紙 (14771000千円(國費:274千円) 混用板で(148741000千円(國費:1949.544千円)
								<150,000>	<150,000>	<123,750>			
36	★ F - 2 - 1 - 1	市街地復興効果促進事業	野田村	村	村	直接	4/5	(525,614) 0	0	(420,489) 0			【他事業へ流用】(平成31年1月11日) 流用先:D-5-2災害公営住宅家責低廉化事業(野田・玉川地区) 流用級:[127]48,138千円(国費:38510千円) 流用後交付対象事業費:477,476千円(国費:381,979千円)
-								<525,614>	<525,614>	<420,489>			【他事業へ流用】(平成30年1月17日)
42	D - 1 - 11	道路事業	城内地区	村	村	直接	2/3	(127,752)	(127,752)	(108,589)			流用先:D-5-2災害公営住宅家賃低廉化事業(野田・玉川地区) 流用額:[H27]85.063千円(国費: 72.303千円)
72		ACPM デホ	79/17/5/2	-17	Ti	<b>□1X</b>	2/3	<127,752>	0 <127,752>	0 <108,589>			流用後交付対象事業費:42,689千円(国費:36,286千円)
								(45,837)	(45,837)	(40,107)			
44	D - 5 - 2	災害公営住宅家賃低廉化事業	野田・玉川地	村	村	直接	3/4	(43,637)	(45,637)	(40,107)			
L								<45,837>	<45,837>	<40,107>			
			配田 . 干川北					(9,215)		(6,911)			
45	D - 6 - 2	東日本大震災特別家賃低減事業	野田·玉川地 区	村	村	直接	1/2	o d	0	0			
-		1						<9,215>	<9,215>	<6,911>			【他事業へ流用】(平成31年1月11日)
46	D - 17 - 2	被災市街地復興土地区画整理事業	城内地区	村	村	直接	1/2	(245,856) 0 <245,856>	(245,856)	(184,392) 0 <184,392>			[加雪季·不加·加州 (加雪斯 (加雪斯 (加雪斯 (加雪斯 (加雪斯 (加雪斯 (加雪斯 (加雪斯
			I have seen and					(130,697)		(98,022)			
55	D - 22 - 4	都市公園(津波防災緑地)施設整備事業	城内·泉沢·米 田·南浜地区	村	村	直接	1/2	(100,007)	0	0			
			H HMZEE					<130,697>	<130,697>	<98,022>			

	(1,376,989)	(1,376,989)	(1,102,973)	(0)	(0)
合計額	0	0	0	0	0
	<1.376.989>	<1.376.989>	<1.102.973>	<0>	<0>

都道県名	岩手県	担当部局名	総務課財政班	担当者氏名	中川 大志
市町村名	野田村	電話番号	0194-78-2111	メールアドレス	h-nakagawa@vill.noda.lg.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。

#### (様式1-4)

## 野田村 復興交付金事業計画 平成29年度 復興交付金事業等

省庁名:

国土交通省

令和元年12月時点

※本	様式は同一の交付担当大臣が交付	寸する事業等ごとに作成して下さい											(単位:千円)
									当該年度(注4)			整額(注5) 合のみ記載)	
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道県 以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	備考
19	D - 1 - 6	まちづくり連携道路整備事業	(野田村) (一)安家玉川 線 下安家	県	県	直接	2/3	(57,744 <u>)</u> 0	57,744	(47,638) 0			「使事業上以張用」(平成29年1月18日)  東州縣(中20年) まちろりと連携遊談資養事業(遊路)  東州縣(中20年) まちろりと連携遊談資養事業(遊路)  東州縣(中20年) 200年日(国東:1523年円)  東州縣(中20年) 200年日(国東:1523年円)  東州縣(中20年) 200年日(国東:2004年日)  東州縣(中20年) 200年日(国東:2005年日)  東州縣(中20年) 200年日(国東:2005年日)  東州縣(中20年) 200年日(国東:2005年日)  東州縣(中20年) 200年日(国東:2005年日)  東州縣(中20年) 200年日(国東:2005年日)  「東州縣、大部諸市(中3年) 200年日(国東:2007年日)  「東州縣、大部諸市(中3年) 200年日(国東:2007年日)  「東州縣、大部諸市(中3年) 200年日(国東:2019年日)   東州縣(東州縣) 200年(2019年日)  東州縣(東州縣) 200年日(日東:2019年日)   東州縣(東州縣) 2019年(2019年日)   東州縣(東州縣) 2019年(2019年日)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)   東州縣(東州縣) 2019年(2019年)   東州縣(東州縣) 2019年(2019年)   東州縣(東州縣) 2019年(2019年)   東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年(2019年)  東州縣(東州縣) 2019年)  東州縣(東州縣)(東州縣) 2019年)  東州縣(東州縣)(東州縣)(東州縣)(東州縣)(東州縣)(東州縣)(東州縣)(東
								<57,744>	<57,744>	<47,638>			
								(57,744)	(57,744)	(47,638)	(0)	(0)	
							合計額	0	0	0	0	0	
								<57,744>	<57,744>	<47,638>	<0>	<0>	

都道県名	岩手県	担当部局名	総務課財政班	担当者氏名	中川 大志
市町村名	野田村	電話番号	0194-78-2111	メールアドレス	h-nakagawa@vill.noda.lg.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。